

東京金融賞 受賞事業者の決定

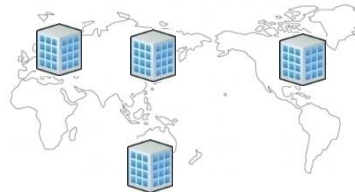
● 東京金融賞（2回目）にて国内外の優れた金融事業者を表彰

金融イノベーション部門

- 都民ニーズ等の解決に資する画期的な金融商品やサービスの開発・提供を行う国内外の金融事業者

ESG投資部門

- ESG投資の普及を実践する国内外の金融事業者



<5月～6月>

都民から約**1,300件**
のニーズや課題

<7月～9月>

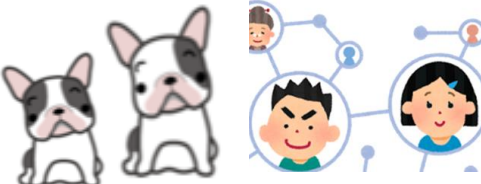


金融イノベーション部門：**80社**（17か国）
ESG投資部門：**38社**（8か国）

国内外の専門家
による審査

<2月12日>

表彰式

受賞事業者 「金融イノベーション部門」

	企業名	主な提案の概要
1位	Frich 株式会社 (フリッチ)	<p>➤ これまで保険サービスが成立しなかった分野（ペット保険、シングルマザー保険等）で、SNSのコミュニティ・グループを活用したP2P(個人同士)保険のプラットフォームを提供</p> 
2位	Fly Money Technologies LTD (フライ マネー テクノロジーズ)	<p>➤ 外国人旅行者等が、予約時点で、日本円への両替や国内決済サービス(モバイルウォレット、プリペイドカード等)へのより安価な手数料での入金を可能とするサービスを提供</p> 
3位	株式会社 400F (フォーハンドレッド エフ)	<p>➤ 簡単な質問に回答することで、収支や資産等の客観的な把握、適切なアドバイザーとのマッチングやチャットでの相談を実施。データベースを基にAIによる中立な資産運用のアドバイスが可能</p> 

受賞事業者 「ESG投資部門」

企業名	主なESG投資の普及活動
三菱UFJ モルガン・スタンレー 証券株式会社	<p>➤ 国内マーケットにおけるESG債普及への貢献 グリーンボンドマーケットにおいて、国内1位の1/4超のシェアを獲得。グリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント*の就任件数についても国内1位</p> <p>* グリーンボンドのフレームワークの策定等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者</p>
新生企業投資 株式会社	<p>➤ 子育て・介護支援ファンド組成を通じたインパクト投資の実践 社会課題解決に対する取組として、邦銀系初のインパクト投資*ファンドを組成</p> <p>* 経済的リターンと社会的リターンの両立を目的とする投資スタイル</p>
S&P Dow Jones Indices LLC.	<p>➤ 「温室効果ガス削減を目的とした指数」の開発 温室効果ガス削減を目的とした日本株式及び外国株式の指数を GPIFが環境株式指数として採用し、約1.2兆円規模で運用を開始</p>